

令和元年度平群町介護保険運営協議会・地域包括支援センター運営協議会（第2回）

■日時 令和2年（2020年）2月25日（火曜日） 午前10時～

■場所 平群町役場 第5会議室

■出席者 松田美智子会長、福田副会長、松田充隆委員、泉谷委員、井戸委員、稲月委員、岡委員、中田委員、中谷委員（9名）

■欠席者 阿良委員

1. 開会

事務局	本日は、大変お忙しい中、ご出席頂きまして誠に有難うございます。それでは、只今から「第2回平群町介護保険運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会」を始めさせて頂きます。それでは、開会にあたりまして、西脇町長よりご挨拶を申し上げます。町長、よろしくお願い致します。
-----	---

2. 挨拶

西脇町長	<p>本日は、「介護保険運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会」に公私共に何かとお忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>また平素より、本町の福祉行政、また介護保険事業に格別のご理解とご尽力を賜っておりますことをこの場をお借りいたしまして改めてお礼申し上げます。有難うございます。</p> <p>現在、新型コロナウイルスがニュースで大きく取り上げられております。平群町におきましても、感染拡大を防ぐために3月末までのイベントを原則中止といたしたところでございます。委員の皆様方には、体調の管理に万全を期して頂きますようお願い致します。</p> <p>さて、ご承知のとおり、介護保険制度が始まりまして20年を迎えております。平成12年から開始したわけですが、この間、本町におきましても、高齢化率が令和2年1月末で37.7%と、近隣の市町村に比べましても、かなり高い率となっております。さらに、団塊の世代の方が75歳以上となる2025年にはさらなる高齢化の伸展が見込まれます。</p> <p>今や人生100年の時代とも言われておりますが、介護が必要な状態になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るように、医療と介護が連携し、予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が急務となっております。</p> <p>今年度は、第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の2年目として、計画に沿った事業を着実に進捗させ、第8期を見据えたうえでの大切な年度であると認識しております。後ほど事務局より、事業の内容や令和元年度の介護保険特別会計の決算見込み、令和2年度の予算案について、ご報告申し上げます次第でございます。</p> <p>委員の皆様には本協議会の主旨をご理解いただき、住民の皆様にとってより良い制度として運営されますよう、限られた時間ではございますが、ご忌憚のない意見を賜りますようよろしくお願い致します。本日はよろしくお願い致します。</p>
------	--

事務局	有難うございました。尚、西脇町長につきましては、公務の都合上、ここで退席させて頂きます。
-----	--

	<p>初めに、委員の交代報告させていただきます。サービス事業者代表の、悠々の郷 和田委員の後任としまして、同じく、悠々の郷 介護士長の阿良 幸雄様を、委員として委嘱をさせて頂いております。尚、阿良委員につきましては、本日、所用のため、欠席の連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>それでは、議事に移りたいと思います。議事進行について、松田会長、宜しくお願い致します。</p>
3. 平群町介護保険事業等の状況について	
松田会長	それでは、本日の議事に入ります。まず初めに、『介護保険運営協議会』から始めたいと思います。「3. 平群町介護保険事業等の状況について」、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>福祉課の今村です。資料1について説明致します。</p> <p style="text-align: center;">－ 平群町介護保険事業等の状況の報告 －</p> <p style="text-align: center;">資料1</p>
松田会長	有難うございました。只今、事務局より説明がありましたが、何かご質問やご意見等はございませんか。
稲月委員	17ページは口頭での説明はなかったのですが、小規模多機能型居宅介護はほぼ横ばいで、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）については計画値を下回る見込みと書かれています。18ページの介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）も計画値を下回る見込みと記載がされているのですけれども、何故そうなるのか。もっとたくさん入所できるように、施設を確保しようと思っていたけれどそうならなかったなど、理由を教えてください。
事務局	今、言っていたのは、特に施設サービスが計画までは利用されていない関係でのご質問かと思います。実際、計画では、該当見込みの全ての方がサービス利用をされると見込んでの計画となっていました。ただ、個々の理由があると思いますが、実際の施設サービスの利用が見込んだ程までは伸びなかったというのが現状になっています。今、稲月委員さんが言っていた、施設が少ないからとか、そういう理由でサービスが利用できていなかったという分析はしていません。
稲月委員	利用しようと思っていたけれど、やっぱりやめておこうとなったということですかね。特養は入りにくいか現実あると思うんです。入りたいと希望しているけれども入れていない、いわゆる待機者の数も、以前は資料に入れていたと思いますが、今回の資料ではないので教えてください。
松田会長	空床は出ているのでしょうか。
事務局	町内の特別養護老人ホームでは、空床は出ていません。逆に待機の方がいらっしゃいます。
稲月委員	待機者の数の資料はありますか。
事務局	個々の施設の待機がどうなっているのか、確認できていません。町が負担金を支払っている老人福祉施設三室園組合には特養の施設が2か所あるのですが、その定員と待機者の数については把握しておりますが、民間の施設までは把握できておりません。

中谷委員	グループホームやすらぎですが、現状としましては待機の方 3 名程おられまして、今ひとつ部屋が空いているんですけども、まだ居宅でもう少しいたいと。認知症の方は、その時その時で違うんです。例えば、今日は大変だから早く入所させたいという方もおられるんです。ただ、次の日安定したら、もう少し在宅でいいとなるので、空いたらすぐとはならないです。今グループホームが平群町内に5つありますが、今のところ空室はほとんどないと思います。待機が1人か2人はおられるのではないかと思います。
中田委員	平群町のグレースの里の者です。特養の待機者は40名前後です。平群町、三郷町、生駒市、いろいろなところから申し込みがありまして、そのうち平群町の方の申し込みが4分の1ぐらいです。ただ、いろいろ状況があるので、申し込みされてもすぐに入所とは繋がらないです。
事務局	今把握している、特別養護老人ホーム三室園とあくなみ苑の待機者の数を言わせていただきます。三室園は、定員50名に対し50名入所、平群町の待機者が5名です。あくなみ苑は、定員51名で空床なし、平群町の待機者3名と聞いております。
稲月委員	行政としてきちんと把握してご報告いただきたいなと思います。
松田会長	他よろしいですか。
稲月委員	6・7ページの決算見込みですが、前回、ご要望があったように、用紙を大きくしていただいて、よく見えるようになって嬉しく思っています。今年もかなり剰余金が出ています。もらいすぎた分を返さないといけないのが前年度の4倍ぐらいになっていることでもあって、前年度よりは少ないですが、収支では3,258万円ぐらいになってます。その分が基金に積みあがってくるということですね。来年度で第7期が終了するわけですが、3,258万円が今までに積みあがっている基金に上乗せされて、7ページの下右端に記載されているように、4億3,067万円に積みあがるんですよ。非常に大きな額で、この額は歳入にありますように、65歳以上の第1号被保険者が支払う介護保険料の総額とほぼ一致します。1年間みんな支払わなくても基金で補えるという、それぐらい大きな額だと私は思うんです。議会の方でも毎回指摘をさせてもらっているところです。第7期の介護保険料を決めるときに、1億5,000万円基金を取り崩して、介護保険料を571円、わずかですが、少しでも保険料を下げようとなっていたのに、持ち出す必要もなく、どんどん基金が積みあがっています。担当者の方からは、途中で引き下げることにはできないというご返答が毎回あるわけですが、やっぱり貯め込みすぎだと思います。みんな余裕があって介護保険料も支払ってくれているのだったら別に問題ないかと思うんですが、みんな非常に苦しい思いをして支払っているわけです。そんな中で、余っていると言ったら語弊があるかもしれませんが、積みあがっている額があまりにも大きすぎます。介護保険料を支払っていても、介護保険を受けなくてもよい人が大勢いらっしゃるわけですよ。ただ、保険だから、いつ何時使わないといけなくなるか分からないから支払っているわけではないですか。その観点からも、返すべきだと思います。拒まれると予想はするんですが、敢えて言わせてもらいます。予算でぜひ検討していただきたいので、この予算案については承服しかねます。
松田会長	ご意見を賜ったということでよろしいでしょうか。

稲月委員	ご返答いただきたいです。
事務局	12月議会におきましても、来年度からの介護保険料の引き下げの請願をいただきました。そちらでもお答えさせていただきましたが、介護保険の計画につきましては、3年間で1期としています。今回、平成30年度、令和元年度、令和2年度が第7期になります。期の途中での保険料の引き下げは、国で一定の考え方を示されていて、給付見込み額が計画の給付額を大きく上回って、財政の運営上支障をきたす場合、例外的に変更できるとなっております。今回は、結果的にサービスの利用が計画ほど伸びていないことで、基金が積み上がっている状況でして、期の途中での引き下げは難しいとお答えさせていただいておりますので、よろしくお願い致します。参考までに申し上げますと、第7期の平群町の介護保険料の基準額は5,186円(月額)で、奈良県下では8番目に低い額となっております。奈良県の平均は5,670円、全国の平均は5,869円です。
稲月委員	そうおっしゃるだろうと予想はしておりました。国の主導の下で、期の途中で引き下げはしがたいということですが、絶対してはいけないと国も言っていないですし、引き下げようと思えば引き下げられると、12月議会で町長もはっきりおっしゃったので、納得しがたいということで、再度言わせていただきます。それと、県下で8番目に低いというのは、他市町村よりも高くないからよいではないかというおっしゃり方だと思うんです。それは関係ないと思います。どれだけ県下で低い額に定めていたとしても、もっと低くしても別に悪いわけではないですよ。お金が足りないのに低くしろと言っているわけではないでしょう。
松田会長	印象としてですが、平群の方って結構お元気だと思うんです。あまりサービス使っていないですよ。そのあたりはどう分析されていますか。だから実績値が下回って余剰が増えていくことになるのではないかと思います。本当に困っていないのだったらよいですし、もしそうだとしたら、他市町村も参考にできることがあるかもしれません。
事務局	個々の健康に対する意識が間違いなく高いのだと思います。
松田会長	その意識を高めるための介護予防の何かがあるとか、健康増進の秘密が平群町にあるといったことはないですか。
事務局	資料2の関係になるかと思いますが、介護予防の様々な取り組みをしておりますので、それも一因かと考えています。
<b>4. 平群町地域支援事業について</b>	
松田会長	ほか、よろしいでしょうか。それでは、次に、「4. 平群町地域支援事業」について事務局より説明をお願いします。
事務局	福祉課の貞岡です。資料2について説明致します。 <p style="text-align: center;">— 平群町地域支援事業 — 資料2</p>
松田会長	有難うございました。只今、事務局から説明がありましたが、何かご質問やご意見等はありませんか。
井戸委員	2ページのへぐりいきいき百歳体操ですが、平群町は力を入れておられて、私の中では、

	<p>参加される方の評判もよく聞いております。私のところの自治会でもやりたいという話をよく聞くんですが、そこで弊害となっているのが、自治会の組織力です。実施地域を見てみますと、組織力が強そうなところだなというイメージがあります。若葉台は最近できたんですか。</p>
事務局	<p>この中では新しく、1年未満の地域です。</p>
井戸委員	<p>半年程前に、若葉台の方から作ってほしいと頼まれたんですが、その方はご存知なかったということですね。これは別の自治会の方からなんですが、世話人が必要ということで、それを緩和するためには、自治会館にテレビがあればビデオを流せるということでした。テレビがない自治会館も多いので、テレビの補助なりを検討していただけるのであればお願いしたいです。テレビの補助は防災の面でも奈良県でも補助が難しく、自治会の単費で出すしかないのかという話でした。テレビも今は安くなっているので、そんなに大きな金額ではないですが、それがあつたら、いきいき百歳体操をするのにいちいち人に来てもらわなくてもいいですし、毎週できるのになという話を聞きましたので、そういうことも検討していただきたいなと思います。予算の都合はあるかと思いますが、半額補助でも、三分の一補助でも、あつたらいいなと思いました。</p>
松田会長	<p>ご要望ということでよろしいでしょうか。</p>
井戸委員	<p>そうですね。あともう一つ、5ページの見守りについて、提案させていただきたいです。今やっておられることも地道な努力で、大事なことで、必要なこととは思いますが。それにプラスαで、ハイテク技術がさらに進化しておりまして、昔からよくあります子供向けの安心フォンとか、GPSで本人の位置が確認できる機能は、大体月1,000円ぐらいかかるので、それが高いということで、月500円ぐらいのシステムが今どんどん中華系で生まれようとしています。そういうのを生かして、例えば平群町で機器をレンタルするだとか、家族が不安に思っている方に、一定の安い料金で貸し出しできれば、有効なのではないかという気がします。これはまだ確定ではないですが、安心フォンの真似をした中国製のものを、さらに真似したものを、今年中にアップルが発売するのではないかとされています。そうすると、お互いの発信機を利用して場所を確認するという技術なので、安く済みます。そういうことを踏まえて、ハイテク技術にもアンテナを張っていただけたらと思います。予算もどうなるかわかりませんが、検討していただければと思います。</p>
松田会長	<p>よろしいでしょうか。他いかがですか。</p>
福田委員	<p>今、井戸委員の発言は、やはり若い方の発言だなと思って聞いていました。私たちはほとんど見守られる方に入っておりますので、初番台ではある程度見守り体制ができています。民生委員さんを中心にして、ご近所の方4～5人でその人を常々見守る形ができています。参考になればと思ってお話をさせていただきました。</p>
稲月委員	<p>2ページの4. 地域リハビリテーション活動支援事業で、①へぐりいきいき百歳体操の実施団体に専門職による技術的指導と書かれていますが、始めの頃や測定する時に行って下さっているというのは聞かせてもらってましたが、どのような専門職の方が行って下さっているのか教えてください。</p>

事務局	地域振興センターの健康運動指導士の貴志さんに行っていただいています。
泉谷委員	少しだけ教えていただきたいのですが、今、安心フォンとかお話が出ていましたが、仕事でデイサービスに行ったりしてしまっていて、その時に、認知症の方の靴に、左近くんが描かれたQRコードのようなものが付いているのを見たことがあるんですが、あれは平群町のどこに申請するんでしょうか。家族からするのか、それともケアマネを通じて申請するんでしょうか。
事務局	今、泉谷委員に言っていただいたのは、5 ページの関係になります。認知症高齢者等SOS ネットワークに登録していただいた方に、QR コードをお渡ししています。申請は、家族さんからでもケアマネさんからでも大丈夫です。窓口は福祉課になります。
松田会長	他、いかがでしょうか。私から一つお尋ねしていいですか。認知症施策のところで、平群町民は若年性認知症の方がどれだけいらっしゃるか、把握されていますか。
事務局	把握できていません。
松田会長	把握もできていなくて、事業もされていないですね。
事務局	講演会やキャラバンメイトさんに若年性認知症のお話をさせていただいたりはしていません。
松田会長	私が気になったのは、初期集中支援チームの活動も相談のレベルで解決しているという捉え方で良いのか、本当に困っている人が放置されているのかで、対応が違ってくると思うんです。医療機関にはかかっていらっしゃることもあるので、その医療と介護の連絡会議とかで情報交換をして、介護保険は65歳以上の方だけのためのもではありませんので、2号被保険者の方も、若年性認知症は特定疾病に含まれていますので、その辺のことも把握していただけたらと、要望しておきます。他、ございませんか。
岡委員	教えていただきたいんですが、へぐりいきいき百歳体操を全目的に取り組んでおられるのは大変だとは思いますが、そもそもそれが介護予防活動にどれくらいの効果があるのか、運動習慣ほど定着させるのにどのくらい効果があるのかを検証したようなものは何かありますか。私のところも、ご要望に応じて、百歳体操を地域に定着させようとしていまして、これは名前のとおり百歳まで生きますよ、というデータがあれば教えていただきたいです。なければいいです。
事務局	百歳体操を導入するまでに、やはりエビデンスのあるものということで、別地域で効果を得ているというデータがあって、平群町も導入したという経緯があります。そちらのデータでよければ、またお渡しさせていただきたいと思います。
岡委員	具体的にどんなデータがあるんですか。私も自分でやってみて、体にこたえるなというのはよく分かるんですが、ただ、やってみて初めて分かるというのではなく、知った上でできるようなデータはありますか。
事務局	百歳体操をする前に、最初に、簡易なものではありますが、いろいろな動作の速度を測るような運動テストをしています。その伸びがとても良かったという結果が出ているデータがあります。
岡委員	そのデータ、公表してもらえませんか。百歳体操をすれば、どういう機能がどういう状態から改善しているのか、そういうデータがある程度集積されていれば、と思ったんで

	す。私どもも、推進していくにあたって、百歳体操をすればこういう効果があると、具体的に示せるようになりたいと思っていますので、もしあったらまた教えて下さい。
松田会長	今そういうデータは平群でとっていらっしゃるんですか。
事務局	必ず、参加者の方から、百歳体操を始める時に最初のデータとして、また1か月後、半年後、と定期的に測定をしています。他の地域での検証はあるんですが、平群町独自の検証として、またデータがたまってきたらお出ししたいと思います。
5. 平群町地域包括支援センター運営協議会について	
松田会長	他、よろしいでしょうか。続きまして、『地域包括支援センター運営協議会』に移りたいと思います。それでは、「5. 平群町地域包括支援センター運営協議会について」、事務局より報告をお願いします。
事務局	地域包括支援センター今村です。資料3について説明致します。 — 地域包括支援センター運営協議会 — 資料3
松田会長	ありがとうございました。只今、事務局より説明がありましたが、何かご質問やご意見等はございませんか。ほぼ計画通りに進捗しているということですのでよろしいでしょうか。
事務局	はい、そうです。
稲月委員	令和元年度の総合相談支援業務の数ですが、まだ年度途中ということもあると思いますが、前年度に比べたら少なくなったんでしょうか。その理由はわかりますか。
事務局	2ページのところで、介護相談の相談件数は751件で、件数自体に大きく変わりはないんですが、今年度より相談件数のあげ方を変更させていただいております。以前は、相談に関わった後の調整とか簡単な連絡等も件数にあげさせてもらっていたんですが、今年度はそういったものは件数にあげないようにしましたので、数字としては減っておりますが、相談件数としては大きく減ったようなことはないです。
井戸委員	2ページ、3ページにわたって、課題・評価という欄があります。特に大変なのは相談業務かなという気はするんですが、ぼんやりとしていて、具体的に課題という課題がない。相談業務に限らないんですが、例えば認知症施策にしても課題はないという感じなんですが、実際はあるのではないかという気がします。なければいいんですが、具体的にこういう時こういうところが問題だよねということと、あと平群町の施策としてこういうものがあれば助かるのにということが、もしあれば教えていただきたいです。
事務局	全体的な課題としまして、地域包括支援センターをまだご存知でない方がいらっしゃるということで、一度来ていただいた方は何度も利用いただいたりすることもあるんですが、実際、困ったことがなければ相談に行くこともないとかで、ご存知ない方が多くいらっしゃるのでも相談に結びつきにくい部分もあるのかと思いますので、今後、そのあたりの周知を強化していけたらと思っています。
6. その他	
松田会長	他、ございませんか。ないようですので、「6. その他」に進めさせていただきたいと思います。折角の機会ですので、本日の議事のほかに、何かご質問やご意見等はございませんか。特にないようですが、事務局からは、何かございませんか。

事務局	来年度の予定について、ご説明をさせて頂きたいと思います。来年度は、年2回の「平群町介護保険運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会」のほかに、「平群町介護保険事業計画等策定委員会」を開催し、「第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」を策定する予定をしております。この「第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」は、令和3年度から令和5年度までの3年間の計画となっております。委員の皆様には、策定委員会で議論いただきながら、計画の策定をして参りたいと考えておりますので、大変お世話をおかけ致しますが、宜しくお願い致します。尚、日程が近づきましたら、改めて開催の通知をさせていただきますので、併せて宜しくお願い致します。
稲月委員	策定委員会の大体の予定はわかりますか。
事務局	前の第7期では合計4回開催させていただきました、第1回目は7月でした。第8期はどうか、また検討させていただきます。
松田会長	以上で、本日の議事は全て終了いたしました。それでは、事務局に進行をお返し致します。みなさんありがとうございました。
7. 閉会	
事務局	<p>松田会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さん、長時間にわたり、慎重にご審議頂き有難うございました。本日頂きました貴重なご意見等につきましては、今後の事業運営に参考にさせて頂きたいと思います。</p> <p>先程もご説明させて頂きましたが、来年度は、大変重要な第8期介護保険事業計画を策定することになっておりますので、色々とお世話をおかけ致しますが、宜しくお願い致します。</p> <p>それでは、以上をもちまして、「第2回平群町介護保険運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会」を終了させていただきます。本日は、どうも有難うございました。</p>

閉会 午前 11 時 40 分